



せたがや区議会だより

No.233

平成24年(2012年)1月1日

発行 世田谷区議会

〒154-8504 世田谷区世田谷4-21-27

TEL(5432)1111代表 FAX(5432)3030

http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/

再生可能エネルギーへの転換を求める意見書などを可決 第4回例会



迎春

あけましておめでとうございます

世田谷区議会議長 島山 晋一

区民の皆様におかれましては、新春をお健やかに迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

世田谷区議会は昨年4月の選挙で皆様の信託を受けた50人の議員により新たに始動しました。今後、皆様の声を区政に十分反映させるよう、全力を尽くしてまいります。昨年発生した東日本大震災は、

各地に甚大な被害をもたらした。日本経済に深刻な打撃を与えました。これを教訓に、災害に強いまちづくりと持続可能な行財政の運営を積極的に進めてまいります。

特別区税を初めとした区の歳入が減少する一方で、社会保障費は年々増加しており、厳しい財政状況は今後も続くことが予想されます。区議会は、いつまでも住み続けたいまち世田谷の実現に向け、従来の慣例にとらわれないことなく、

創意工夫を積み重ね、将来を見据えた時代に合った施策の実現に全力で取り組んでまいります。

昨年、地方自治法が改正され、自治体の責務はさらに大きくなりました。議決機関である区議会は、その権能をいかに発揮し、活力に満ち魅力ある世田谷の実現に向け、執行機関と切磋琢磨してまいります。

皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

議決内容

議決された案件の概要をご紹介します。今回の定例会には、区長から13件、議員から1件の案件が提出され、すべて原案どおり可決しました。

●**条例の改正** 10件

○地区会館条例 (全員賛成)

○桜上水区民集会所の廃止。

○スポーツ振興審議会条例 (全員賛成)

○スポーツ振興審議会条例 (全員賛成)

○スポーツ振興法の改正に伴い、条例名をスポーツ推進審議会条例に改めることなど。

○保育園条例 (全員賛成)

○八幡山保育園の位置を粕谷2-12-13に変更。

○保育条例 (全員賛成)

○22年度の税制改正に伴う認可園保育料の負担回避のため、保育料の算定方法を変更することなど。

○区長等の給料条例 (賛成：自民新、公明、生社、共産、民主、無党派、減税、虹、世田谷、無所属、反対：み行)

○監査委員の給与条例 (賛成：自民新、公明、生社、共産、民主、無党派、減税、虹、世田谷、無所属、反対：み行)

○教育長の給与・勤務時間条例 (賛成：自民新、公明、生社、共産、民主、無党派、減税、虹、世田谷、無所属、反対：み行)

○以上3件は、給料月額の設定。

○区議の報酬・費用弁償条例 (賛成：自民新、公明、生社、共産、民主、無党派、減税、虹、世田谷、無所属、反対：み行)

○報酬月額の設定。

○職員給与条例 (賛成：自民新、公明、生社、共産、民主、無党派、減税、虹、世田谷、無所属、反対：み行)

○幼稚園教育職員給与条例 (賛成：自民新、公明、生社、共産、民主、無党派、減税、虹、世田谷、無所属、反対：み行)

○以上2件は、給料月額の設定など。

○**工事請負契約の締結** 1件

○仮称太子堂複合施設新築工事 (全員賛成)

相手方：株式会社丸山工務店

契約金額：三億三千万円

工期：25年2月28日

施設内容：太子堂出張所、太子堂あんしんすこやかセンター、三軒茶屋区民集会所、わんぱくクラブ三軒茶屋

○**特別区道路線の廃止** 1件

(全員賛成)

○**人権擁護委員候補者の推薦** 1件

(全員賛成)

次の候補者を法務大臣あてに推薦することを可とする答申。

○**議員提出議案** 1件

○再生可能エネルギーへの転換を求める意見書 (全員賛成)

○意見書の内容は8ページに掲載 (8ページへ続く)

氏名	住所
松本 三樹夫(再任)	下馬
箕輪 文江(再任)	喜多見
神津 仁(新任)	若林

会派名等
自民新 自由民主党世田谷区議団・新風
公明 公明党世田谷区議団
生ネ社 生活者ネットワーク・社会民主党世田谷区議団
共産 日本共産党世田谷区議団
み・行 みんなの党 世田谷行革110番
民主 世田谷民主党
無党派 無党派市民
減税 減税世田谷
虹 レインボー世田谷
世田谷 世田谷無所属
無所属 無所属

公職選挙法の規定により、議員の寄附行為や時候のあいさつ状などは禁止されています。

区役所から撮影

平成24年(2012年)年頭に当たって

平成23年12月22日現在

自由民主党 世田谷区議団・新風

新年あけましておめでとうござい
ます。

皆様には、日ごろからご支援を賜り、心より感謝を申し上げます。昨年は、東日本大震災に伴う余震が続く中、統一地方選挙が実施され、新たな区政と議会がスタートいたしました。

けれども日本の復興、再生を願う中、自民党の「安全・安心の街づくり」というゆるぎない基本姿勢に、多くの支持をいただき、議席を伸ばすことができました。さらに新たな風も加わり、自由民主党・新風16名として、一丸となって、区政発展のため全力で取り組む決意であります。

私たちの会派は、責任政党である世田谷区議会第一党として、長年、区政運営を牽引し続け、今日の世田谷を築いてきました。引き続き厳しい経済状況への対処や東日本大震災を教訓とした区政課題については、早急に新たな方策、方針を示していく必要がある一方で、区民の皆さんとともに

これまで培ってきた世田谷らしい施策については、行政効果、経済効果を検証しつつも着実に継続し、安定した区政運営に努めていかなければなりません。

個別的な政策課題については、以下のとおり取り組みます。

●災害対策（首都直下型地震に備えた総合的な防災対策の強化、着実な道路整備や区内建物の耐震化など災害に強い都市基盤の整備、都市型水害対策の強化など）

●都市基盤整備（下北沢及び二子玉川の再開発事業の着実な推進、開かずの踏切解消に向けた鉄道立体化の促進、東名以南を含めた外環道の早期整備など）

●環境・エネルギー（各家庭、事業者、公共施設での節電・省エネの推進、再生可能エネルギーの活用促進、公共施設での緑化推進や省エネルギー設備の導入など）

●保健福祉（生活保護費の急増に対する自立支援対策等の強化、医療費の抑制に向けた健康づくり施策の充実、都立梅ヶ丘病院跡地の保健医療福祉拠点としての活用など）

●高齢者・障害者施策（在宅生活を支える地域密着型サービス施設

の充実や介護者に対する支援策の強化、高齢者見守りシステムの構築、障害者の就労や地域生活支援策の拡充、福祉人材の確保・育成策の充実など）

●子ども施策（保育サービス待機児対策の推進、在宅子育て支援事業の拡充、発達障害児支援策の充実、児童虐待防止策の強化など）

●まちづくり（区民参加を支える地域行政制度のさらなる充実、震災を踏まえた地域コミュニティの促進など地域の絆の強化など）

●産業振興（公共事業での活用や融資制度の充実などによる区内事業者支援策の強化、営農支援・農地保全策の拡充など）

●スポーツ振興（区内大学や民間施設の活用などスポーツ施設の整備・充実、総合的な生涯スポーツ・レクリエーション施策の推進など）



●教育（世田谷9年教育の推進、思いやりや豊かな心をはぐくむ学校教育内容の充実、学校適正配置の推進など）

●新風は、いつまでも住み続けたいま世田谷の実現を目指し、全力で取り組んでまいります。

 かみしま 上島よしもり 〒156-0052 経堂1-21-16-3F 5433-5166	 おおば 大場やすのぶ 〒154-0011 上馬2-1-7 5486-6800	 いしかわ 石川征男 〒157-0072 祖師合1-9-16 3483-5111	 あべ あべ弘幸 〒154-0002 下馬3-16-13 3413-3740
 あらい 宍戸のりお 〒156-0043 松原3-29-18 3323-7223	 こまつ 小松大祐 〒157-0062 南島山6-3-9-502 6909-0217	 こいづみ 小泉たま子 〒157-0068 宇奈根3-14-28 3415-0305	 かみやま 上山なおのり 〒154-0002 下馬1-24-15-102 6805-2607
 ふじやま 富山晋一 〒156-0041 大原1-16-3-112 3466-7005	 すがの 菅沼つとむ 〒154-0015 桜新町1-14-18 3428-2161	 しんかわ 新川勝二 〒154-0011 上馬5-19-16-301 3429-5650	 やま 下山芳男 〒154-0011 上馬4-2-5 3421-1447
 わだ 和田秀壽 〒158-0083 奥沢1-40-2 3720-3542	 うちやま 山内彰 〒154-0001 池尻4-29-18 3411-1488	 やまぐち 山口ひろひさ 〒158-0082 等々力2-23-6-303 3702-1819	 みつ 三井みほこ 〒157-0066 成城5-23-1 3482-1950

みんなの党・ 世田谷行革110番

迎春 東日本大震災被災地の復興と被災者の皆様の一日も早い生活の回復を心より祈念いたします。「みんなの党・行革110番」は、情報公開が行き届いたガラス張り区政の実現、税金のムダ使いの監視、脱原発の考えに基づく安心・安全の街づくりをさらに進めてまいります。昨年は我々の追及によ

 すえおか雅之 〒157-0066 成城4-10-16 090-9813-5082	 おおば 大庭正明 〒157-0063 粕谷3-15-3 3307-1179
--	--

 ももの 桃野よしふみ 〒157-0067 喜多見8-4-12-103 6751-1781	 なかと 田中優子 〒156-0043 松原4-34-20-309 3322-8131
---	---

り区役所幹部の虚偽答弁、文書隠しが明らかになり、区長が議会で謝罪し、副区長以下、幹部職員が懲戒処分を受けました。また、不透明な補助金の支出について調査・検証委員会の設置に至り、「税金のムダ使い」にメスを入れる事ができました。弦巻の放射能をめぐる事件では、いち早く議会で取り上げ解決につなげました。今後とも保坂区政の掲げる「脱原発」「情報公開」「区民参加」がブレな

世田谷民主党

新年あけましておめでとうござい
ます。皆様には日頃からご支援を賜り、心より感謝申し上げます。世田谷民主党は、これまでの政策の柱である行政改革（歳出削減の各施策・区政の透明化・外郭団体改革など）、福祉（子ども・高齢者・障がいのある方）の充実、これまでに注力、邁進してま

 さとう 佐藤美樹 〒156-0052 経堂2-4-2-402 6379-8300	 かざま 風間ゆたか 〒154-0002 下馬3-24-19 080-5466-0024
--	--

 なかむら 中村公太郎 〒158-0082 等々力8-21-3-206 090-8050-2750	 なかがわ 中塚さちよ 〒156-0055 船橋1-11-11松本ビル3階 3429-6078
--	---

あります。また昨年3月の東日本大震災での教訓を活かし、いざという時に区民の皆様の命を守る災害対策・安心安全の街づくりや、引き続き厳しい区財政の健全化に向けても、皆様の声をさまざまな政策提言につなげてまいります。党派構成4名と少数ですが、国・都政とも連携を図りつつ、政策実現に向けて全力で取り組んでいく所存です。本年も、皆様からの叱咤激励を賜りますようお願い申し上げます。

無党派市民

迎春 3・11を機に「脱原発時代を切り拓く、緑の先進国を世田谷から」と呼びかけ、保坂区政を実現。私も5期当選を得ました。区長の脱原発と大規模開発転換の公約実現のため直言居士を貫きます。

 やすだ 木下泰之 〒155-0033 代田4-24-15-102 5355-1283

減税世田谷

4年で2500万円の区長退職金廃止を実現。+500万円の議長役職手当、議長公用車経費760万円、自動車通勤議員26人分の専用駐車場、税金を食い物にする職業議員等、議会の常識は区民の非常識を正します。

 あべ あべ力也 〒157-0076 岡本1-38-14-306 090-9314-9608
--

レインボー世田谷

迎春。一人の議員でも条理を尽くした議論で多くの成果をあげることが出来ます。本当に困っている人こそ声を上げることが難しい。少数者として生きてきた経験を糧に「ちいさな声」を代弁します！

 あや 上川あや 〒156-0051 宮坂2-26-24-203 5799-7765
--

新年あけましておめでとうございます

公明党 世田谷区議団

新年あけましておめでとうございます。皆様からの公明党への温かなご支援に心より感謝申し上げます。

昨年の区議会議員選挙では、10名全員当選を果たさせていただきました。私どもは皆様のご期待にお応えできるよう現場第一主義で、全力で区政課題に取り組みまいります。

東日本大震災が発生してから9ヶ月余りが経過しましたが、被災地の復旧・復興は遅々として進まず、いまだに多くの被災者が困難な生活を余儀なくされています。被災地の支援に全力でのぞむとともに、世田谷区においても区民の生命と財産を守るため、大災害に対応できる災害対策が何よりも重要です。我が党は「大衆とともに」との立党精神のもと「全国300人を超える地方議員のネットワーク」があります。その持ち味を十分に生かし「生活現場」から声を積み上げ、区民に寄り添った政策を積極的に



杉田 光信
〒157-0061
北鳥山6-32-16
3308-4033



佐藤 弘人
〒157-0071
千歳台3-21-14
3482-7732



岡本 のぶ子
〒156-0054
桜丘4-25-17-210
3427-0557



板井 齋
〒158-0087
玉堤1-16-28
3704-8405



平塚 敬二
〒154-0022
梅丘3-4-12
3420-0240



津上 仁志
〒154-0024
三軒茶屋2-20-13-108
5787-6162



高橋 昭彦
〒156-0044
赤堤2-30-12
3327-0443



高久 則男
〒154-0005
三宿2-14-7-304
3422-0828



諸星 養一
〒154-0016
弦巻1-28-18
3426-7197



福田 妙美
〒154-0017
世田谷4-7-33
5797-9825

発信し、その役割を果たしていくことをご誓い申し上げます。具体的な取り組みは以下のとおりです。

- ◎福祉先進都市せたがやを目指す
- ◎高年齢者見守りネットワークの構築、②保育待機児解消の取り組み、③こころの健康対策、④梅ヶ丘病院跡地を福祉の総合拠点として整備、⑤がん検診の充実
- ◎自立都市せたがやを目指す
- ◎児童虐待対策の強化、②動物殺処分ゼロへの取り組みの強化、③政策点検による財源確保、④新たな雇用の創出、⑤災害対策総点検と着実な整備
- ◎環境都市せたがやを目指す
- ◎環境配慮型都市への転換、②みどりの創出の推進、③都市型水害対策への取り組み、④放射線に対する不安解消への取り組み
- ◎まちづくり先進都市せたがやを目指す
- ◎京王線連続立体交差事業の推進、②自転車走行環境の整備、③災害に強い街づくりの推進
- ◎教育都市せたがやを目指す
- ◎世田谷9年教育の推進、②魅力ある公教育の確立と特別支援教育の充実、③いじめ・不登校対策の強化、④薬物撲滅の取り組み強化

生活者ネットワーク・ 社会民主党世田谷区議団

新年あけましておめでとうございます。私たちは昨年8月、区民主体・区民本位の区政の実現、区民生活と福祉の向上、議会改革を目指し統一会派を組みました。日本経済は依然厳しい状況下であり、景気・雇用対策の拡充と福祉・社会保障の充実による地域経済の活性化に向けた取り組みが求



唐沢 としみ
〒158-0083
奥沢4-27-4
3727-2950



植田 靖子
〒158-0096
玉川台1-14-3
5491-2425



高岡 じゅん子
〒156-0042
羽根木1-31-3
3328-2915



桜井 純子
〒157-0065
上祖師谷5-20-5
3326-9665



羽田 圭二
〒158-0092
野毛3-14-1-306
3702-3550



てるや 里美
〒154-0021
豪徳寺1-20-7-101(事務所)
3420-0737

められています。今年には以下の重点課題に取り組んでまいります。

- 災害に強く、だれにもやさしい福祉のまちづくりを推進します。
- 区・区民・事業者・NPO等の協働で新しい公共を構築します。
- 子育て・子育て支援を強化し、教育・若者施策を充実させます。
- 住みなれた地域で暮らし続ける仕組みと施設整備を拡充します。
- 区民が守り育ててきたみどり・景観を次世代に継承します。

- 既存産業の支援と都市型産業の育成で地域経済を活性化します。
- 脱原発・自然エネルギーを活用した施策を推進します。
- 一層の資源分別回収を図り、資源循環型社会確立を目指します。
- 男女共同参画社会への取り組みを推進し、DVを根絶します。
- 核兵器廃絶、平和市長会議加盟を活かし平和事業を推進します。
- 放射能から子どもたちを守るための対策と情報公開を求めます。

日本共産党 世田谷区議団

新年あけましておめでとうございます。日頃からのご支援ありがとうございます。

東日本大震災で被災された全体的に改めて心からお見舞い申し上げます。日本共産党は、被災者

の生活再建を最優先とする復興・支援に全力でがんばります。

日本共産党世田谷地区委員会は昨年区民の皆さんと7回のポランテア活動を行ってきました。今年も継続して取り組みます。

放射能から子どもを守るために区内全域での徹底した測定と除染を進めます。原発から撤退し、自然エネルギーへの本格的な普及を

進めます。また、住宅耐震化をはじめとした区の防災対策の拡充に全力で取り組みます。

日本共産党は、保坂区長も公約した「大型開発優先の区政からの転換」を実現するために奮闘します。二子玉川再開発、下北沢駅前開発などの見直し、特養ホーム、認可保育園の増設、住宅リフォーム助成実現のためにがんばります。



桜井 稔
〒154-0024
三軒茶屋1-6-11
5481-2928



江口 じゅん子
〒156-0043
松原2-23-7-201
5300-2735



中里 光夫
〒155-0033
代田2-31-4-303
3795-7091



里吉 ゆみ
〒157-0063
粕谷3-26-16
3309-3792



村田 義則
〒158-0081
深沢4-7-12
3702-3206



青空 こうじ
〒156-0041
大原1-13-7
3485-2726

謹賀新年 区を取り巻く社会経済環境は、依然厳しいものがありますが、今年こそ明るい話題に溢れてほしいものです。私も希望が感じられる地域づくりに全力で取り組んでまいります。



ひうち 優子
〒155-0033
代田6-6-22-102
3466-3858

謹賀新年 区民の皆様が安全で安心して暮らせるよう、本年も災害対策をはじめ、自転車施策・図書館の充実・地域の身近な問題など、積極的に取り組んでまいります。本年もよろしく願います。

世田谷無所属



世田谷芸術百華2011 「世界無形文化遺産・中国「京劇」を知る」の様子

代 表 質 問

11月28日及び29日の本会議で、6名の議員がそれぞれの会派を代表して質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

自由民主党世田谷区議団・新風

山内 彰議員

区長のリーダーシップの発揮

質問 区長は記者会見で自治体の長としてふなれなことを理由に60点と自己採点した。今後、どのようにリーダーシップを発揮していくのか。

区長 今後も慢心することなく、謙虚に区政課題に取り組んでいく。深刻な財源不足に対する財政計画

質問 24年度予算編成過程で87億円の歳出超過となっている。財源不足に年度ごとに対応する方法では限界に来ており、予算編成に合わせ、中長期的な財政計画を示せ。

副区長 歳入状況などを勘案し、議会の議論も踏まえ策定したい。

行政改革の徹底

質問 区が行政経営改革計画素案で示した事業や制度の見直しは抽象的でわかりづらい。厳しい財政状況を踏まえ、具体的方向性を示して行政改革に早急に取り組み。

区長 事業のあり方を再点検し、財政構造の改革を行っていきたい。

災害対策用設備の有効活用

質問 区は災害対策本部機能を老朽化した第1庁舎から第3庁舎に移す予定だ。移転に伴い新たに設置する機材などは、将来本庁舎を整備する際に有効活用できるのか。

危機管理室長 整備する設備は、将来有効活用できるように配慮する。

災害に強い下北沢のまちづくり

質問 防災への区民の関心が高まる中、多くの人が集まる下北沢の災害に強いまちにすることは区の責務だ。下北沢の都市計画道路の整備の必要性を区長は明確に示せ。

区長 これまでの経緯からも現計画を基本に区民意見を聞いていく。

二子玉川再開発の基本的な公共性

質問 二子玉川再開発事業では、道路や交通広場、公園などの公共施設が整備される。区は公共性のあるこの事業の着実な推進に必要な不可欠な補助金を支出せよ。

区長 公共性の向上と確保という視点で事業者と協議を始めている。災害に備えた外環道の整備推進

質問 外環道は災害からの復旧にも大きな役割を果たし、区を災害に強いまちにするためには不可欠だ。災害対策の強化を掲げる区長は、外環道整備を積極的に進めよ。

区長 国に環境影響などの区民への丁寧な情報公開を求めていく。

踏切解消に向けた京王線連立事業

質問 区はこれまで区民とともに京王線の開かずの踏切解消に向けて努力してきた。京王線連立事業の事業化に向けて手続が進む今、本事業推進への区長の認識を示せ。

区長 都市交通の円滑化を求め、区として進めるべき事業である。

公共的役割を担う商店街への支援

質問 時代や価値観の変化をとらえて商店街への支援策を検証すべきだ。災害や高齢化を踏まえた新たな区民ニーズに対応する商店街の取り組みを積極的に支援せよ。

産業政策部長 商店街の公共的役割を促進する支援策を検討する。

急増する生活保護受給者への対応

質問 厳しい財政状況のもと生活保護受給者はふえ続けており、制度の持続性が危惧される。より慎重な審査を行うなど、区としてできる対策にいま一度力を注げ。

副区長 受給者の資産などを調査する専門員の設置を検討していく。

地域行政制度充実への区長の方針

質問 区長は地域行政制度を充実すると聞く。区政の根本である基本構想の策定に着手しようという今、区独自の本制度の充実などの具体的な像を持って臨むのか。

区長 顔と顔が見えるまちづくりの実現を目指し、改革を進める。

あいさつから始めるきずなづくり

質問 先の震災以降、国民は人とのきずなを一層求めるようになった。人と人とのつながりに不可欠なあいさつを、あらゆる機会をとらえて子どもにしっかりと伝えよ。

教育長 子どもがすばらしい徳を身につけるよう教育を充実する。

公明党世田谷区議団

高久 則男議員

行政改革のさらなる推進

質問 歳入不足を基金の取り崩しや区債で賄うなど、区の財政は危機的状況だ。この危機を先駆的な行政改革に挑戦するチャンスにとらえ、今こそ真の改革を進めよ。

区長 区民からの意見を参考に、行政経営改革を着実に進める。

外環道の東名道以南の整備実現

質問 外環道が渋滞緩和などの機能を十分発揮するには、東名道以南の整備実現が不可欠だ。整備が進む川崎縦貫道との連動を視野に、東名道以南の事業化実現に努めよ。

副区長 国や都に検討の場の設置や明確な方向性を求めていきたい。

小田急線上部利用案の提案時期

質問 小田急線地下化後の上部利用を通じて区民サービスの向上を図ることが重要だ。都や小田急電鉄との協議に向け、区の上部利用案をいつまでにまとめるのか。

拠点整備部長 23年度中にまとめ、協議会に提案する予定である。

保育園関連経費の抑制策

質問 今後の行政需要に対応するため一層の経費抑制が急務だ。区立園運営費の多くを占める人件費などの削減に向け、民営化や保育室などの拡充を積極的に進めよ。

子ども部長 持続的、安定的な保育の提供に経営的観点で取り組む。

まちの魅力を生かした産業の創出

質問 下北沢や三軒茶屋など、区内には独自の魅力を持つまちは多い。まちのブランドを生かしてファッションやアートなどに関連した新たな産業の創出に取り組め。

産業政策部長 まちの魅力を活用した産業の創出への支援を進める。

梅ヶ丘病院跡地活用に向けた決意

質問 医療保健福祉の拠点整備に向け、都立梅ヶ丘病院跡地活用への取り組みを推進すべきだ。病院解体工事が間もなく始まる今、改めて跡地活用に向けた決意を示せ。

副区長 区民福祉の将来を見据えた基盤づくりとして実現を目指す。子どもへの放射能対策の推進

質問 原発事故後、速やかに保育園の園庭などの放射線量を測定した区の対応を評価する。今後も国との遅れとした対応を待たず、子どもへの放射能対策を確実に進めよ。

区長 子どもが安心して育つことができる環境整備に力を入れる。

安全な自転車走行環境の整備推進

質問 警察庁は自転車車が車道を走る原則を厳格化する方針だ。自転車事故が都内最多の区として安全な走行環境の整備に一層力を注げ。

土木事業部長 車道の左側を走りやすいよう、環境整備に努める。

区立小の適正規模化への取り組み

質問 区東部に小規模の区立小が多く存在するなど、地域によって児童数の偏在化が進んでいる。小規模校の課題を十分検証し、区立小の適正規模化に取り組め。

教育長 学校規模の違いによる課題などの調査研究をさらに進める。

生活者ネットワーク・社会民主党世田谷区議団

唐沢 としみ議員

財源確保に向けた施策展開

質問 持続可能な財政基盤の確立は重要課題だ。生産年齢の中でも若い世代が安定的に税金などを納められるよう、社会保障の充実を含めて現役世代の支援を強化せよ。

区長 若者への支援に取り組むことは、重要な課題だと考える。

保育施設の拡充に向けて

質問 保育待機児童解消を一層推進すべきだ。国有地を活用した保育施設の整備をさらに進めるため、借地料の引き下げを国に求めよ。

子ども部長 借地料の軽減に向け、国にさらなる配慮を求めていく。

地域での福祉のまちづくり

質問 地区単位での福祉のまちづくりが重要だ。地域コミュニティの衰退原因を分析し、出張所やまちづくりセンターの機能を強化して地域の見守りなどを充実せよ。

政策経営部長 今後も地区まちづくり活動が充実するよう取り組む。

若者の再就職支援の強化

質問 非正規雇用が広がり、職を失うと正規の職につくことが困難な状況だ。相談支援体制を充実するなど、若者が正規として再就職できる環境の整備に取り組め。

産業政策部長 若者の再就職支援の強化に向け取り組みを充実する。

京王線連立事業に伴う影響の把握

質問 京王線連立事業に伴う区民の不安を払拭すべきだ。計画内容への疑問に応え、区民生活に与える環境などの影響を十分把握せよ。

交通政策部長 今後も、環境配慮などを事業者である都に求める。

区立校の魅力向上に教職員の声を

質問 区立校の魅力を高めるには、幼保小連携の一層の推進と教育の質を高めることが必要だ。区は現場の教職員とともにつくり上げていく姿勢を明確にすべきだ。

教育長 今後も、教職員とともに世田谷9年教育の実現に取り組む。

日本共産党世田谷区議団

桜井 稔議員

放射線測定器の区民への貸し出し

質問 福島原発事故に伴う放射能汚染から子どもを守る取り組みが急務だ。区民とともに区内全域の放射線量を測定するため、測定器を大量購入して区民に貸し出せ。

環境対策室長 まずは、区としての測定体制の強化に力を注ぐ。

私有地の放射能汚染への対応

質問 放射能汚染への区民の不安を払拭すべきだ。私有地での放射線測定や除染などの要望に対しても、区はしっかりと対応せよ。

環境対策室長 今後も区民に有効な情報を収集し、提供していく。

訪問介護看護サービスの拡充

質問 国が介護保険サービスに導入予定の定期巡回・随時対応型訪問介護看護では最低限の介助しか保障されない。区は独自に訪問時間や回数の上乗せなどを検討せよ。

地域福祉部長 実施状況の検証の際に改めて研究すべきか考慮する。

認可園増設による保育待機児童解消

質問 区内の乳幼児数は急速にふえている。区は保育サービス事業の目標を引き上げ、認可園の増設を中心に保育待機児童の解消を図れ。

子ども部長 認可園整備を中心に、適切な保育サービスの拡充を図る。

区内中小企業への支援の強化

質問 長引く不況に加え、東日本大震災の影響も受け、区内中小企業の経営状況は一層厳しくなっている。区は支援策として仕事起こしと雇用確保の取り組みを進めよ。

産業政策部長 今後も創業支援や就労支援の取り組みを進めていく。

再生可能エネルギーの利用推進

質問 区長はNPOなどと仮称再生可能エネルギー利用推進地域協議会を立ち上げ、太陽光パネルや太陽熱給湯器の普及に区独自に取り組むとした。内容を詳細に示せ。

区長 他都市の例も踏まえ、区の規模に合ったフレームを構築する。



多くの人でにぎわう「ボロ市」の様子

代 表 質 問

代表質問、一般質問の模様をホームページで
ライブ中継・録画配信しています。
<http://www.city.setagaya.tokyo.jp/kugikai/>
議会中継をクリック!

みんなの党・世田谷行革10番
田中 優子議員

24年度予算の編成方針

質問 24年度予算の編成過程で既に約87億円の歳出超過にあることが判明した。財政問題を最重要課題としている区長は、何をどう削減して予算を組むつもりなのか。
政策経営部長 事業手法の見直しなどを進め歳出規模の縮小を図る。

下北沢再開発への区長の見解

質問 区長の区議会招集あいさつに下北沢の駅前広場と補助54号線の整備計画を見直す発言がなかった。計画どおりに進めることを区長が決断したと理解してよいのか。
区長 住民参加のプロセスを大切に、意見を聞き決定していく。

二子玉川再開発事業の整備方針

質問 区長は二子玉川再開発への補助金支出の前提として、図書館設置などの公共性の向上が必要だと表明した。具体的な構想を示せ。
区長 図書館機能や公共空間の拡充に向け、事業者と協議している。

京王線連立事業への区長の認識

質問 大型開発の見直しを公約した区長だが、区議会招集あいさつでは京王線連立事業について一切触れなかった。区民生活に責任を持つ区長として明確に考えを示せ。
区長 踏切解消の期待から、区としては推進すべきと認識している。

ペット同伴の防災訓練の実施

質問 震災時にペットと避難できる環境の整備が必要だ。避難時の課題などを把握するため、ペット連れの防災訓練を実施せよ。
危機管理室長 一部の学校で試行する方向で調整していく。

議決を経ずに行った和解の違法性

質問 デジタル映像産業誘致支援事業の失敗に伴い事業者が負う弁済額を区は独断で減額したが、これは議会の議決が必要な和解に当たり法令違反だ。区の見解を示せ。
副区長 弁済額の減額などの和解に当たる譲歩はしていない。

世田谷民主党
中村 公太郎議員

予算要望書の予算への着実な反映

質問 我が会派は24年度予算に向け、削減、新設、拡充すべき事業と理由、経費などを明記した有用で責任ある予算要望書を提出した。これは予算にどう反映されるのか。
区長 予算編成の中で総合的に判断し、よいものは取り入れていく。

外部人材による事業仕分けの実施

質問 区の財源不足の解消には、公務員の常識を打ち破った抜本的な事業の見直しが必要だ。外部人材を活用し、独立性と客観性が担保された形での事業仕分けを行え。
政策経営部長 各種審議会などの提言をとらえ、効率化に努める。

不急な土木事業の廃止

質問 財政状況が厳しい今、借金をふやしてまで不急な土木事業を行う必要はない。道路の維持など、最低限必要な土木関連経費を示せ。
都市整備部長 道路などの維持管理の経費は、約49億6000万円である。

コンプライアンスの強化

質問 民間で相次いだコンプライアンスの欠如による不祥事を、税金を扱う区は重く受けとめなければならぬ。コンプライアンス強化への取り組みを明確に示せ。
総務部長 内部統制のシステムなどについて、早急に研究を進める。

熊本前区長の肖像画の作成費用

質問 第1庁舎3階の応接室には、歴代区長の肖像画が飾られている。新たに加えられた熊本前区長の肖像画の作成にかかった費用を示せ。
総務部長 額縁を含めて消費税込みで63万円である。

肖像画作成への区長の見解

質問 財政難の折、応接室に飾られ、限られた人だけが目にする肖像画の作成に高額な税金を使うことは問題だ。保坂区長は退職の際に、自身の肖像画を作成するのか。
区長 区民意見などを聞いて、決められていくものだと考える。

一 般 質 問

11月29日及び30日の本会議では、29名の議員が区政をめぐる諸課題について質問を行いました。その一部を要約してお伝えします。

すえおか 雅之議員(み・行)

区独自の人件費削減への区長決断

質問 自治権の確立に向け、世田谷が率先して23区改革を実行すべきだ。まずは他区に先駆け、世田谷区独自の基準による職員給与の削減を、区長が政治決断せよ。
答弁 今回の給料の減額は特別区長会で結論に至ったものである。

法令遵守を徹底する体制の確立

質問 情報隠ぺいや法令違反とならざるような事態が相次いでおり、法令遵守の体制確立が急務だ。公益通報者保護条例の制定やコンプライアンス審査会の設置に取り組み。
答弁 コンプライアンス機能を拡充する検討の中で研究したい。

議決を経ない和解と自治法違反

質問 デジタル映像産業誘致支援事業の廃止に伴う事業者への補助金弁済額の減額と履行期間の延長は和解であり、議会の議決なく進めたのは法令違反だ。見解を示せ。
答弁 法令に従い適正に処理しており和解ではないと認識している。

菅沼 つとむ議員(自民新)

飼い主のいない猫対策の充実

質問 飼い主のいない猫を減らす取り組みに一層力を入れるべきだ。猫への不妊手術を行うために日々取り組んでいるボランティアの活動を区が積極的に支援せよ。
答弁 ボランティア活動の新たな担い手発掘などに取り組んでいる。

地域との協力による猫対策

質問 飼い主のいない猫セミナーに参加し、猫に関する苦情が町会などに多数寄せられていることがわかった。区は町会や自治会と十分連携を図り必要な対策を講じよ。
答弁 ボランティアや町会、自治会と連携し、対策を一層推進する。

区の職員住宅の見直し

質問 区は職員住宅の家賃を安く設定しているが入居率は85%程度であり、住宅の維持経費に年間3億円以上も投じている。職員住宅について区の見解を示せ。
答弁 職員住宅の不断の見直しに鋭意取り組んでいく。

佐藤 美樹議員(民主)

保育園入園選考での公平性の確保

質問 認可園の入園選考の際の不公平感を是正すべきだ。育休取得者の所得実態をより正確に把握すべく、育休取得者については育児休業給付金を加算するなど工夫を。
答弁 既存収入を客観的に把握するために所得税額で判断している。

スタンドパイプの設置場所の工夫

質問 スタンドパイプは消火栓からの直接放水を可能とする器具で、この機動性という利点を活かすべく、緊急車両が入れない狭い道路など道路上への設置を検討せよ。
答弁 公共施設への設置など、より効果的な利用方法を検討する。

区ガバナンス体制の強化

質問 デジタル映像産業誘致支援事業中止のような事態を再発させぬよう、コンプライアンス推進室を設けた横浜市に倣い、コンプライアンス・ガバナンスを強化せよ。
答弁 国や民間などの動きにも注視を怠らず、研究に努める。

津上 仁志議員(公明)

児童虐待防止の取り組みの強化

質問 児童虐待防止の取り組みを強化すべきだ。研修内容の工夫などにより、日ごろ児童生徒と接し、虐待を発見しやすい立場にある教職員の対応能力の向上を図れ。
答弁 今後も教職員の意識向上に努め、児童虐待の防止を図る。

防災訓練の参加者の拡大

質問 先の震災を経て区民の防災意識が高まっているにもかかわらず、地域の防災訓練への参加者は例年と余り変わっていない。参加者の拡大に向け、内容を工夫せよ。
答弁 企業や大学などへの案内を工夫し、参加者の拡大に取り組む。

放置自転車対策の強化

質問 自転車等放置禁止区域内に限らず、区域外の放置自転車対策も強化すべきだ。区域外の放置自転車の情報を警察に提供している区民の活動を一層支援せよ。
答弁 地域で活動している区民と連携し、適切な対策を講じていく。



大根の引っこ抜きの様子
(鈴木農園 中町2丁目)

本文中で使用している省略表記

- 拠点整備部長 生活拠点整備担当部長
- 土木事業部長 土木事業担当部長
- 交通政策部長 交通政策担当部長
- 環境対策室長 環境総合対策室長
- デジタル映像産業誘致支援事業
- デジタル映像コンテンツ
- 産業誘致集積支援事業
- 支所 総合支所

諸星 養一議員(公明)

中央図書館の機能の充実

中央図書館の機能充実を望む声は多い。教育センターを移転して現施設を図書館として単独で整備し、88万の人口に見合った図書館となるよう機能の充実を図れ。

児童館の機能の強化

中高生の居場所づくりとして児童館の活性化に取り組みべきだ。放課後活動や相談支援の拠点となるよう、中高生にとって必要な児童館機能の強化を図れ。

区民の防災用品の備蓄促進

区民の防災用品の備蓄を促進すべきだ。集合住宅の家主や管理組合に入居者用の防災用品の備蓄を義務づけるなど、区民の備蓄が進む仕組みを構築せよ。

備蓄している家主の例の紹介など、自助の重要性を周知する。

和田 秀壽議員(自民新)

体育指導委員の積極的な活用

体育指導委員の活動を地域スポーツの振興に生かすべきだ。地域スポーツのリーダーとしての活用に向け、出張所などと連携してスポーツイベントを開催せよ。

災害時要援護者支援事業の充実

災害時要援護者支援事業を一層充実すべきだ。特に平日昼間の態勢を強化するため、元気高齢者や地元商店街との連携を密にし、支援を担う人材の発掘に努めよ。

大人への自転車安全利用の啓発

区内での自転車事故が多発しており安全運転の一層の啓発が必要だ。まずは大人がきちんと交通ルールを守るよう、幼稚園や保育園などで保護者への啓発を行え。

新川 勝二議員(自民新)

補助154号線整備の効果

整備中の補助154号線は、梅ヶ丘病院跡地や区役所、駒沢公園、東京医療センターなどを結ぶものだ。区民の利便性向上に大変有効なこの整備への区の認識を示せ。

福祉政策の視点に立った道路整備

高齢者の移動手段の充実にはバス路線の拡充が重要であり、そのために必要な道路整備は一層推進すべきだ。これからは福祉政策の視点で道路整備に取り組み。

消費生活センターの体制の充実

高齢者人口に比例して今後消費生活相談件数の増加が予想される。より多くの相談に丁寧に対応できるように、相談員をふやすなど、相談体制の充実を図れ。

交通不便地域解消への取り組み

新規にコミュニティバス路線を導入する上で、車道の幅員や事業の採算性の確保などが大きな課題だ。これらの課題解決に取り組み、交通不便地域の解消を図れ。

多世代が集える居場所づくり

地域コミュニティづくりが課題となっている。コミュニティレストランの手法の活用による食を通じた多世代交流の場づくり、空き家などを活用して取り組み。

引き続き、受診率の向上と医療費の伸びの抑制に努める。

ひうち 優子議員(世田谷)

大腸がん検診の受診率の向上

大腸がんで亡くなる区民は増えているが、大腸がん検診の受診率は6%と低い。特定健診などと同時に受診できるようにするなど、受診しやすい体制を整備せよ。

「区民のひろば」欄の拡大

区のおしらせの「区民のひろば」欄は高齢者サークルなどの情報提供に大きな役割を担っている。高齢者活動の一層の促進に向け、欄を拡大して情報量をふやせ。

自転車利用の徹底

自転車事故がふえており、利用者の規範意識を高める取り組みが必要だ。策定予定の区独自の自転車憲章を警察と連携して周知し、交通ルールの遵守を徹底せよ。

江口 じゅん子議員(共産)

都立梅ヶ丘病院跡地の活用

都立梅ヶ丘病院は地域で小児精神医療・療育に大きな役割を果たしてきた。跡地には、都民区民にとって必要な小児精神外来・デイケア等の整備を強く求める。

新規コミュニティバス路線の検討

区は交通不便地域解消に向け、祖師ヶ谷大蔵駅から世田谷美術館を経由し、関東中央病院までを結ぶ路線を新規バス路線の候補として検討した。検討結果を示せ。

交通安全対策

被災地の瓦れきを区内の清掃工場へ受け入れる際には、徹底した安全対策と情報公開が必要だ。区も監視のために工場周辺敷地外の放射線量の定期測定を進めよ。

生活習慣病予防への取り組み

医療費総額は約718億円である。生活習慣病の予防が重要だ。生活習慣病の予防が重要だ。生活習慣病の予防が重要だ。

都市農地の保全策の充実

食料供給や環境保全などの多面的な役割を担う都市農地が減少している。都市農地を守るため、農地に係る相続税納税猶予制度の継続などを国に強く働きかけよ。

引き続き、受診率の向上と医療費の伸びの抑制に努める。

福田 妙美議員(公明)

避難場所案内板の効果的な設置

避難場所案内板の効果的な設置を検討すべきだ。設置経費の軽減に向けた広告掲載や英語やふりがなの表示、駅などの人の多い場所への設置などに工夫を凝らせ。

英語版問診票の普及

区は乳幼児を抱える外国人に、日本語で記載された予防接種や定期健診の案内しか送付していない。送付する案内に英語版の問診票があることを英語で表記せよ。

野川の貴重な自然を残す取り組み

貴重な自然を残すための取り組みを進めるべきだ。野川流域で活発に活動する自然保護団体を支援するとともに団体と野川を管理する都との調整を積極的に行え。

石川 征男議員(自民新)

受益者負担の見直し

高齢化が進む中、福祉サービスのための財源確保は区の最重要課題だ。税収の大幅増が望めない今、区政運営に受益者負担の考え方をこれまで以上に取り入れよ。

後期高齢者の医療費の実態

高齢化の進展に伴い増加する医療費の削減は重要な課題だが、生活習慣病に起因する疾病を患う高齢者の増加が医療費を押し上げている。医療費の実態を示せ。

都市農地の保全策の充実

食料供給や環境保全などの多面的な役割を担う都市農地が減少している。都市農地を守るため、農地に係る相続税納税猶予制度の継続などを国に強く働きかけよ。

聴覚障がい者向け防災手帳の改善

先の震災では聴覚障がい者向けの防災手帳が有効に機能した。手帳が必要な人の手に渡り一層活用されるよう、配付方法のあり方も含めて改善に取り組み。

植田 靖子議員(生不社)

聴覚障がい者向け防災手帳の改善

先の震災では聴覚障がい者向けの防災手帳が有効に機能した。手帳が必要な人の手に渡り一層活用されるよう、配付方法のあり方も含めて改善に取り組み。

高岡 じゅん子議員(生不社)

避難所運営への女性の参画

きめ細やかな心遣いが必要だ。避難所運営の仕組みが重要だ。運営に女性の声が生かされるよう、避難所運営標準マニュアルに女性リーダーの役割を明記せよ。

女性職員による災害時の巡回相談

災害時こそ弱い立場になりやすい区民への対応が必要だ。被災地に派遣した保健師などの経験を生かし女性職員が連携した介護や子育ての巡回相談体制をつくれ。

精神疾患患者への訪問支援の充実

精神疾患患者が地域で療養するには、多職種チームによる訪問支援が重要だ。支援する人材の育成に向け、都と連携を強化して講座の参加者拡大などに取り組み。

平塚 敬二議員(公明)

老朽家屋の適切な管理の促進

管理不十分な老朽家屋は防犯上問題となるだけでなく、災害時には倒壊し、避難の妨げになる可能性がある。解体費の助成などを含め、安全確保策に取り組み。

代読代筆サービスの拡充

視力が弱く読み書きに困っている高齢者への支援を充実すべきだ。障害者自立支援法では認められていない自宅での代読と代筆のサービス提供に区は取り組み。

都市農地の保全策の充実

食料供給や環境保全などの多面的な役割を担う都市農地が減少している。都市農地を守るため、農地に係る相続税納税猶予制度の継続などを国に強く働きかけよ。

聴覚障がい者向け防災手帳の改善

先の震災では聴覚障がい者向けの防災手帳が有効に機能した。手帳が必要な人の手に渡り一層活用されるよう、配付方法のあり方も含めて改善に取り組み。

植田 靖子議員(生不社)

聴覚障がい者向け防災手帳の改善

先の震災では聴覚障がい者向けの防災手帳が有効に機能した。手帳が必要な人の手に渡り一層活用されるよう、配付方法のあり方も含めて改善に取り組み。

小泉 たま子議員（自民新）
区民自立型の避難所運営

【質問】 震災直後は避難所の開設に十分な区職員を充てられるとは限らない。すべての避難所が区民みずから運営する自立型の体制となるよう目標時期を定めて取り組む。

【質問】 24年の早い時期には自立型避難所の体制の枠組みをつくる。

【質問】 東日本大震災の被災地では、在宅被災者への支援が極めて手薄であった。これを教訓に、区では責任者を明確にして在宅被災者への支援体制づくりに取り組む。

【質問】 在宅被災者への支援の仕組みを体系的に組み立てていきたい。

【質問】 災害時でも高齢者の見守りが機能する体制を構築すべきだ。

【質問】 あんしんすこやかセンターの移管

【質問】 旭小周辺の130号線道路拡幅計画の理由を区は渋滞緩和から防災対策へとすりかえてきた。沿線住民の多くが計画に反対してきたが、区は強引に進めるのか。

【質問】 旭小周辺の130号線道路拡幅計画の理由を区は渋滞緩和から防災対策へとすりかえてきた。沿線住民の多くが計画に反対してきたが、区は強引に進めるのか。

【質問】 旭小周辺の130号線道路拡幅計画の理由を区は渋滞緩和から防災対策へとすりかえてきた。沿線住民の多くが計画に反対してきたが、区は強引に進めるのか。

【質問】 旭小周辺の130号線道路拡幅計画の理由を区は渋滞緩和から防災対策へとすりかえてきた。沿線住民の多くが計画に反対してきたが、区は強引に進めるのか。

【質問】 旭小周辺の130号線道路拡幅計画の理由を区は渋滞緩和から防災対策へとすりかえてきた。沿線住民の多くが計画に反対してきたが、区は強引に進めるのか。

【質問】 旭小周辺の130号線道路拡幅計画の理由を区は渋滞緩和から防災対策へとすりかえてきた。沿線住民の多くが計画に反対してきたが、区は強引に進めるのか。

【質問】 旭小周辺の130号線道路拡幅計画の理由を区は渋滞緩和から防災対策へとすりかえてきた。沿線住民の多くが計画に反対してきたが、区は強引に進めるのか。

【質問】 旭小周辺の130号線道路拡幅計画の理由を区は渋滞緩和から防災対策へとすりかえてきた。沿線住民の多くが計画に反対してきたが、区は強引に進めるのか。

【質問】 旭小周辺の130号線道路拡幅計画の理由を区は渋滞緩和から防災対策へとすりかえてきた。沿線住民の多くが計画に反対してきたが、区は強引に進めるのか。

【質問】 旭小周辺の130号線道路拡幅計画の理由を区は渋滞緩和から防災対策へとすりかえてきた。沿線住民の多くが計画に反対してきたが、区は強引に進めるのか。

風間 ゆたか議員（民主）
公園遊具の安全対策

【質問】 子どもの安全確保に向け、公園に潜む危険性を指摘して改善を求めたが、公園遊具整備が進んでいることを評価する。

【質問】 遊具の更新を約20基行うなど、ほぼ計画どおりに進んでいる。

【質問】 児童保育利用者は年々増加傾向にあり、過密化の解消や時間延長などへの対応が不可欠だ。都型児童の導入検討や、新BOPの根本的な見直しを図れ。

【質問】 子どもが安心して過ごせるよう円滑な新BOP運営に努める。

【質問】 130号線道路拡幅計画の見直し

【質問】 旭小周辺の130号線道路拡幅計画の理由を区は渋滞緩和から防災対策へとすりかえてきた。沿線住民の多くが計画に反対してきたが、区は強引に進めるのか。

【質問】 旭小周辺の130号線道路拡幅計画の理由を区は渋滞緩和から防災対策へとすりかえてきた。沿線住民の多くが計画に反対してきたが、区は強引に進めるのか。

【質問】 旭小周辺の130号線道路拡幅計画の理由を区は渋滞緩和から防災対策へとすりかえてきた。沿線住民の多くが計画に反対してきたが、区は強引に進めるのか。

【質問】 旭小周辺の130号線道路拡幅計画の理由を区は渋滞緩和から防災対策へとすりかえてきた。沿線住民の多くが計画に反対してきたが、区は強引に進めるのか。

【質問】 旭小周辺の130号線道路拡幅計画の理由を区は渋滞緩和から防災対策へとすりかえてきた。沿線住民の多くが計画に反対してきたが、区は強引に進めるのか。

【質問】 旭小周辺の130号線道路拡幅計画の理由を区は渋滞緩和から防災対策へとすりかえてきた。沿線住民の多くが計画に反対してきたが、区は強引に進めるのか。

【質問】 旭小周辺の130号線道路拡幅計画の理由を区は渋滞緩和から防災対策へとすりかえてきた。沿線住民の多くが計画に反対してきたが、区は強引に進めるのか。

【質問】 旭小周辺の130号線道路拡幅計画の理由を区は渋滞緩和から防災対策へとすりかえてきた。沿線住民の多くが計画に反対してきたが、区は強引に進めるのか。

【質問】 旭小周辺の130号線道路拡幅計画の理由を区は渋滞緩和から防災対策へとすりかえてきた。沿線住民の多くが計画に反対してきたが、区は強引に進めるのか。

【質問】 旭小周辺の130号線道路拡幅計画の理由を区は渋滞緩和から防災対策へとすりかえてきた。沿線住民の多くが計画に反対してきたが、区は強引に進めるのか。

【質問】 旭小周辺の130号線道路拡幅計画の理由を区は渋滞緩和から防災対策へとすりかえてきた。沿線住民の多くが計画に反対してきたが、区は強引に進めるのか。

上川 あや議員（虹）
政策決定の要「庁議」を公開せよ

【質問】 区長は取り組みたいことの第一に情報公開の徹底を掲げた。ならば他の自治体同様、区の政策決定の最高機関「庁議」の議論も公開すべきだ。区長見解を問う。

【質問】 さまざまな角度から検討するテーマだと認識している。

【質問】 X線撮影の難しい障害者の胃がん検診について区の検討組織は主治医による検診が望ましいと切り捨てた。ならばその費用は他の区民同様、区費で賄うべきだ。

【質問】 費用の負担も含め、さまざまな課題について今後も検討する。

【質問】 本庁舎以外でも手話提供の工夫を

【質問】 私の議会質問で本庁舎の手話通訳者待機時間は倍増したが、サービスは区内1カ所のみ、午前中のみだ。テレビ電話を使い他支所でもサービスを展開できないか。

【質問】 テレビ電話の活用も含め、情報保障の環境整備の検討を行う。

【質問】 木下 泰之議員（無党派）
区の情報操作・秘匿体質を改めよ

【質問】 小田急線の連立事業調査報告書を手せず事業を進めた区の情報操作・秘匿が問題。区長は問題点を理解し上部利用や新規道路を含む下北沢事業見直しに着手を。

【質問】 2000年の報告書は実際に見ていないため、改めて確認する。

【質問】 京王線連立事業の抜本的見直しを

【質問】 区には構造比較の積算根拠等重要部分が黒塗りの京王線連立事業調査報告書しか出さぬまま、事業を着々と進める都の態度は許されない。都市計画案を差し戻せ。

【質問】 工法を採用した理由について、引き続き都に求めていく。

【質問】 ストロンチウム検出を軽視するな

【質問】 区内駒沢の都の関連施設で3月15日に採取した空気から、原水爆実験最盛期の観測値の10倍相当ものストロンチウムが検出された。この事態への区の見解を示せ。

【質問】 駒沢のストロンチウムの問題は、課題だと認識している。

上山 なおのり議員（自民新）
ジェネリック医薬品の利用促進

【質問】 ジェネリック医薬品の利用促進は医療費の抑制に有効だ。ジェネリック医薬品に代替した場合に減額できた医療費を通知するサービスを国保加入者に対して行え。

【質問】 利用促進に向け、利用差額通知の送付を現在検討している。

【質問】 都下有効活用

【質問】 多くの都営団地の建てかえが計画されている。建てかえに伴い空地が生じる際は、活用方法を区内全体で総合的に検討し、窓口を一本化して都との交渉に臨め。

【質問】 施設需要を把握し、都用地活用による効率的な整備を目指す。

【質問】 仮称健康増進・活動施設の整備

【質問】 区は都営池尻団地跡地に建設される複合施設に池尻保育園などを移転させるとともに、仮称健康増進・活動施設を整備すると聞く。この施設の整備目的を示せ。

【質問】 多世代の区民が充実した生活を送れる環境を整備する。

【質問】 村田 義則議員（共産）
介護事業所での死亡事故の経過

【質問】 区内の指定通所介護事業所が夜間に行う介護保険適用外の宿泊事業で死亡事故が起きた。これを区が公表しなかったのは問題であり、事実経過を明らかにせよ。

【質問】 事故報告書を提出させ、現地を調査し、状況などを聴取した。

【質問】 介護保険事業の基盤整備

【質問】 先の介護事業所での死亡事故の背景には、介護保険サービスの不足がある。区の保健福祉審議会に情報提供し、次期介護保険事業計画にこの教訓を生かせ。

【質問】 審議会でもショートステイの不足などを踏まえ審議している。

【質問】 大型公共事業の抜本的見直し

【質問】 不況で区の歳入は減少しており、熊本前区長が策定した実施計画の継続は困難だ。巨費を要する二子玉川再開発などの大型公共事業の計画を抜本的に見直せ。

【質問】 区の課題解決に向け、重点的な取り組みを体系化する。

青空 こうじ議員（無所属）
児童虐待防止に必要な教育の充実

【質問】 児童虐待を防ぐには、子どもたちからの教育が重要だ。区立校に助産師などの外部講師を招いて行う命の教育や自尊心を思いやりを育てる教育を充実せよ。

【質問】 子どもたちの生命尊重や思いやりの心を育てる教育の充実を図る。

【質問】 両親学級の充実

【質問】 夫婦が協力して健やかに子どもを育てるには、出産前からの夫婦への支援が重要だ。親になる自覚を促す両親学級の内容を充実するとともに開催回数をふやせ。

【質問】 質の高いサービスの維持を基本に、改善に向け検討を進める。

【質問】 乳児期の子育て支援策の充実

【質問】 出産後の親の育児不安の深刻化を防ぎ、児童虐待の防止につながるべきだ。区民に身近な児童館などで行っている乳児期の子育て支援策をさらに充実せよ。

【質問】 関係機関と連携を深め、乳児期の子育て支援を充実する。

【質問】 あべ 力也議員（減税）
監査委員の報酬の実態

【質問】 現在、監査委員も務める区議会議員には議員と監査委員の報酬が二重に支払われている。監査委員としての報酬額と年間出席日数、1回当たりの出席時間を示せ。

【質問】 月額16万7000円、22年度は42日、1回2〜5時間程度である。

【質問】 監査委員の会議の会議録の公開

【質問】 監査委員は監査を受ける区長が選任しており、透明性が保たれていない。監査が形式的でないか確認できるように、会議の会議録をホームページなどで公開せよ。

【質問】 会議録のホームページへの掲載は、今後の検討課題とする。

【質問】 監査機能の専門性の強化

【質問】 区政への信頼の確保に向け、監査機能の専門性を強化すべきだ。まず監査委員も務める区議会議員を2人から1人に減員し、監査業務に精通した専門家を1人加えよ。

【質問】 1名減員は、多様な見地から議論されるべきものと認識する。

中里 光夫議員（共産）
京王線立体化事業は凍結を

【質問】 220億円の京王線立体化・複々線化は凍結し、震災復興や防災対策へ回せ。利用者は減少傾向にあり、線路をふやす複々線化は不要だ。区の認識を示せ。

【質問】 混雑緩和などを図るものであり、必要だと認識している。

【質問】 京王線高架化計画は見直し

【質問】 震災後、耐震基準や防災計画の見直しが進められている。高架化計画は住民の理解を得ていない。区は高架化による連立事業を見直すよう都に強く求めよ。

【質問】 都は新たな耐震基準が示されれば、強度を見直すとしている。

【質問】 小田急線地下化後の緑道の整備

【質問】 小田急線地下化後の跡地を緑豊かな緑道にすることを希望する区民は多い。区長は跡地が緑とにぎわいの空間になるよう、関係機関としっかりと協議せよ。

【質問】 上部利用計画案をまとめ連続立体交差事業協議会に提案する。



区立中学校での交通安全教室の様子 (東深沢中学校)

次回の定例会は2月下旬から開催する予定です

(1ページからの続き)

請願

皆さんから出された請願・陳情の審議結果などをお知らせします。審議が終わったもの

◆趣旨採択したもの

3件

○固定資産税及び都市計画税の軽減措置の継続について意見書等の提出に関する請願
(全員賛成)

○主要生活道路130号線の早急な拡幅整備に関する陳情
賛成 市民新公明、市民共産、市民無所属、賛成多数
反対 市民新、減税、虹、世田谷、無所属

○世田谷区立保育園における放射能対策を求める陳情
賛成 市民新公明、市民共産、市民無所属、賛成多数
反対 市民新、減税、虹、世田谷、無所属

○外国人住民に係る基本台帳制度の施行時期に関する陳情
(全員賛成)

◆不採択としたもの 1件
○外国人住民に係る基本台帳制度の施行時期に関する陳情
(全員賛成)

◆新しく出されたもの 1件
○福祉保健常任委員会に付託
○梅ヶ丘病院跡地利用の推進と基

本構想に示された機能の実現を求める陳情

◆都市整備常任委員会に付託

3件

○(仮称)明大前プロジェクト新築工事建設計画の変更に関する陳情

○区内私道の道路位置指定に関する陳情

○小田急線成城学園前駅北口バス路線の一部ルート変更に関する陳情

意見書

区議会は、次の意見書を関係機関あてに提出しました。

再生可能エネルギーへの転換を求める意見書

平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、東京電力福島第一原子力発電所において重大な事故が発生し、大量の放射性物質が放出され、深刻な事態となっている。事故の収束は、未だに目途が立たず、震災からの復興にも重大な障害となっている。

さらに、放射性物質の広範囲にわたる拡散、農水産物への影響等、多くの国民の生活や経済に甚大な被害をもたらしている。

このような事態に、広く国民の間にも原子力発電を見直し、安全なエネルギー源を求める機運が高まっている。

国は、原子力発電の重大な事故を検証した上で、新たなエネルギー政策への転換が求められている。

しかしながら、現状では、発電量全体の3割を原子力発電が占めており、国民生活の停滞を招くことのないよう、電力の安定供給を図りつつ、将来展望を明確にし、計画的に進めていかなければならない。

今夏は、電力の需給が逼迫する事態となり、企業の経済活動や国民の暮らしにも大きな影響があった。電力供給不足を補うために、旧式で老朽化した火力発電を稼働させてきたが、この結果、二酸化炭素等温室効果ガスの排出量の増加が予想される。

こうしたことから、再生可能エネルギーの活用を積極的に図ることが必要である。さらに、再生可能エネルギーの活用・普及は、厳しい経済状況下において、地域産業の活性化につながることも大いに期待されている。コストや技術の面で課題はあるが、これらを解決し、一刻も早くわが国の新たなエネルギー政策を構築していく必要がある。

そのために、本区議会は以下の事項について、早急に実現を図ることを要望する。

- 1 再生可能エネルギーの普及に必要な技術開発に優先的に予算措置を講ずること。
- 2 再生可能エネルギーの活用には発電だけでなく、活用の障害となっている送電・供給の仕組み(発電分離・買取り制度等)についても検討すること。
- 3 エネルギー政策について、原子力発電に関するコストなどの情報開示を進めること。また、広く国民に開かれた議論を行い、策定すること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出する。

平成23年12月7日

内閣総理・総務・環境・経済産業大臣 あて

要望書

区議会は、次の要望書を関係機関あてに提出しました。

固定資産税及び都市計画税の軽減措置等の継続を求める要望書

青色申告者を含む小規模事業者を取り巻く環境は、長期的な景気の低迷に加え、世界規模の経済状況悪化などにより、危機的かつ深刻な状況にあり、雇用の拡大、金融事情の悪化、後継者不足など、さまざまな危機にさらされています。

このような社会経済環境の中で、世田谷区内の事業者は、厳しい経営を強いられ、その生活基盤は圧迫され続けています。

こうした中、東京都が実施している、軽減措置、減免措置が廃止されることになれば、小規模事業者の経営や生活はさらに厳しいものとなり、地域経済への悪影響が懸念されます。

1. 小規模住宅用地に対する都市計画税の二分の一軽減措置を引き続き平成24年度以降も実施すること。
2. 小規模非住宅用地に対する固定資産税・都市計画税の2割減免措置を引き続き平成24年度以降も実施すること。
3. 商業地等における固定資産税・都市計画税を、負担水準の上限を65%に引き下げる減額措置を引き続き平成24年度以降も実施すること。

世田谷区では、平成16年に「世田谷区人と動物との調和のとれた共生に関する条例」を施行し、区民、関係団体、都などと連携し、人と動物との調和のとれた共生社会の実現に取り組んでいます。

動物の愛護の基本は、動物が命あるものとし、その尊厳を守ることとあります。しかし、現在、犬猫の引き取りなどに伴う殺処分は、年々減少しているものの、平成21年度において約23万頭あり、より一層の取り組みが必要と考えます。

また、人と動物とが共生する地域社会を形成するためには、動物の命を尊重することとあわせて、動物の鳴き声、糞尿等による被害の防止を含め、動物が人の生命、身体、財産を侵害することのないよう動物の飼養及び保管が適切に管理される必要があります。そのためには、動物の飼主(所有者・占有者)は、社会的責任を十分に自覚して、飼養することが求められますが、現実には、周辺の生活環境を悪化させ、あるいは狂犬病予防法に基づく犬の登録や予防注射を行わない飼主もいます。

したがって、動物の愛護及び管理を進めるには、動物取扱業の規制を強化することはもとより、厚生労働省等の他省庁の動物関連の業務についても飼主への適切な普及啓発や指導を行い、適正な飼養を推進することが必要です。

つきましては、法改正にあたって、下記の点について、十分検討していただくよう要望いたします。

- 1 犬猫の殺処分の減少に向けた取り組み
 - ・ 家庭動物等の飼主に対する終生飼養・適正飼養の意識啓発。(室内飼ひ、不妊去勢、所有者明示など)
 - ・ 犬については、狂犬病予防法の登録を強化すること。
 - ・ 猫については、飼主のいない子猫の発生を減らすこと。
 - ・ 適正な譲渡を推進すること。

2 周辺の生活環境悪化予防のための適正飼養

- ・ 動物愛護の観点での適正飼養の指導啓発。
- ・ 周辺環境の悪化予防に向けた適正飼養の指導啓発。

3 他省庁と連携して検討する事項

- ・ 厚生労働省所管の狂犬病予防法の犬の登録率向上に向け、販売時の登録義務の説明(手続き、窓口案内等)の徹底、若しくは、現行、生後91日以上となっている登録義務の見直しによる短縮。

4 動物取扱業における動物愛護の遵守

- ・ 動物愛護の観点から動物取扱業について規制を強化し、適正に動物を飼養・保管すること。

平成23年11月25日
環境大臣 あて

編集後記

○区議会定例会は、2、6、9、11月の年4回開かれます。本会議や予算・決算特別委員会が開催される際には、その模様を区役所第1、第3庁舎、総合支所、文化生活情報センター内の市民活動支援コーナーで生中継いたしますので、ぜひごらんください。

○お問い合わせやお気づきの点がありましたら、区議会事務局調査係までお寄せください。
TEL (5432) 2779
TEL (5432) 3030
FAX (5432) 3030

本紙に掲載された質問、答弁などの詳しい内容についてお知りになりたい方は、会議録(2月中旬発行予定)をごらんください。なお、会議録は、区立図書館、区政情報センター、総合支所、出張所、まちづくりセンターなどに備えてあります。また、ホームページでもごらんいただけます。